



LED チューブライト入りの光る繊維ロープ

ロープ製造の基本技術を活用しつつ、燃って作るロープと燃ってはいけないLED電球・チューブとを組み合わせる光る繊維ロープを開発。当初は、LED電球の破損・電気配線破損が多発、製品の製造は困難を極めたが、試行錯誤のうえ、製品開発に成功。中部経済産業局の「地域産業資源活用事業計画」の認定を受けている。

業況等の動向について

本業の動向について

大正14年創業の合繊繊維ロープメーカー。原系製造からロープ製造まで当社で一貫した製造体制を築き、高品質を保っている。

現時点では震災特需があり業況は活発である。しかし、それも2012年いっぱい落ち着くと考えており、特需以前の徐々に減少していた状態に戻ると考えている。

異業種参入事業の概要

LEDチューブライト入りの光る繊維ロープの製造販売。

水中、海中での仕様を前提としたLEDを組み込んだ繊維ロープは、高品質、長寿命なLEDを使用し、水深30Mでの使用に対応。ポリエチレンを使用し、ロープとしての強度を保ちながら水中でも「明るい」のが特長である。ロープ原系には、NK(財)日本海事協会認定品を使用している。三つ打ち、八つ打ち、組紐など様々なタイプ強度が選択でき、イルミネーション用から潜水士・海難救助用まで様々な用途に対応している。その他、蒲郡信用金庫 お客様支援部の協力を得て情報発信を頂き、多方面から問い合わせを頂戴しており、取引先が利用方法を考え出している状況である。

現況は売上高7,000千円、売上高構成比2.8%である。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

2004年に大手水産会社から、従来にない集魚灯として使うことの出来る、光る繊維ロープを作るように依頼されたから考え続けていたもの。LEDの電飾からヒントを得て試行錯誤の末2006年に実現できた。

参入して際しての投資について

研究・実験材料費・開発費などに3,000千円程度を投じている。

参入して最も成果のあがったこと

三栄製網のイメージが変わったことと、今まで接したことのない職種の人との交流ができ、勉強させてもらっていることである。

参入して最も困難だったこと

燃って作るロープと、燃ってはいけないLED電球・チューブ。相反する性質を持つ物を組み合わせる製造方法を確立する段階。

参入に際して活用した自社の技術ノウハウについて

ロープ製造の基本技術を活用した。細部に関しては公開できないが、意匠登録は済ませておりロープに関する技術は活かしている。

今後の展望・見通し

活用場面はまだまだまだ多くあると思うが、今後の広がりには予測できないもの大いに期待している。

お客様が納得して使用してもらえれば嬉しく思う。また、お客様にも更なる利用方法を考えていただけるのではないかと考えている。

メリット・デメリット

異業種の方との交流で、意識の違いなども含めて勉強になるのがメリットである。

デメリットに関しては、今のところは感じていない。

異業種参入時のアドバイス

援助機関は親身になって相談に乗ってくれ、頼りになるので活用すべきだと思う。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

初めて行うことが多く、何もわからなかったが中部経済産業局や独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中部支部などの相談窓口では非常に熱心な対応を頂き大変役立った。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

助成金制度は今後も継続してほしい。

会社概要

設立:昭和11年2月

資本金:2,300万円

従業員数:14名

URL: <http://www.hikarope.com/>